情報システム学科[3年制/男女]

AP 入学者の 受け入れ 方針 アドミッション ポリシー 情報システム学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、 学び続ける意欲がある人2 地元香川県を中心に、目指すIT業界の専門職業人として、発展に貢献
- する意欲の高い人
 3 モノづくりに興味があり、世の中の暮らしをIT技術を活用してさらに便利
- 4 業界で評価されるIT技術や高資格、高検定を取得し、即戦力として活躍 したい人

CP

教育課程 編成 実施の方針 カリキュラム 情報システム学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- IT業界で必要な知識・技術を体系的に学び、国家資格が取得できる 授業構成とする
- 2 他者理解・コミュニケーション能力を習得するため、アクティブラーニング形態の授業を実施する
- 3 ITに関する最新の知識・技術を実感できる、業界で活躍中のプロ講師による授業を実施する
- 4 チーム内での役割や他人との関わり方を学ぶため、グループワークや外部企業へのインターンシップの機会を設定する

DP ...

目指す 人材像 ディプロマ ポリシー 情報システム学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業 年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認 定および専門士の称号を授与する

- 地域社会・国際社会に貢献できるコンピュータ全般の知識を有し、システム開発技術を身につけている
- システム設計・プログラミング・サーバー構築に関わる専門知識・技能を 習得し、なおかつそれを社会で発揮できる力を身につけている
- 3 常に新しいことに挑戦することで、課題解決に必要な柔軟な発想力を 有し、様々なニーズに応える企画提案力を身につけている
- 4 多様性を理解し、自ら積極的に信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている

目指す資格

- ●基本情報技術者試験[国家資格]
- ●応用情報技術者試験[国家資格]
- ●サーティファイ主催 Javaプログラミング能力認定試験
- ●Linux技術者認定試験(LPIC)

	したい人			ポリシー	や外部企業へのインター	シシップの機会を設定する	ン能力を身につけている			
	1 年 次				2		3 年 次		主な科目内容	
		<前期>	<後期>			<後期>	<前期>	<後期>	コンピュータ概論	基本情報技術 情報技術の基
	科目A免除	である基本情報技術者試験の 徐試験の合格を目標に、IT(情	の科目B試験の合格を目標に、前期		開発でよく利用されているツ ーバ、データベース)を使っ		卒業年次としてこれまで学んだことを ベースにチームで卒業研究に取り組	卒業研究のチームでの制作を通じて システムの実装力を高めるととも	ネットワーク・ セキュリティ概論	基本情報技術情報セキュリ
到	報技術)に関する基礎的な知識(コン に学んだIT (情報技術) の基礎から一ピュータ概論、ネットワーク・セキュリ 歩進んだ知識(データベース設計演 ディ概論、システム開発概論)を学ぶ。 習、ネットワーク演習)を学ぶ。またまたプログラミングに必要なアルゴリ 前期より継続して学んでいるJava言 ズムの基礎を理解し、Java言語で実装 語を用いてテーマに基づくプログラム			ケーション開発の演習を行 な実装力をつけ、個人レベ	タベース)を使ってアプリケーション 開発の演習を行い実装力を高めチームでの課題制作を行う。 また引き続き国家試験の合格を目指す。	む。前期はそのスタートとしてチーム 制作手法を詳しく学ぶ(アジャイル開 発演習)。 また新しい技術(AIプログラミング、 AWSクラウド)を学び、実装の幅を広	に、チーム内でのコミュニケーション を通じて社会性を高める。 また新しい技術 (AIプログラミング、 AWSクラウド) を学び、実装の幅を広 げる。	システム開発概論	基本情報技術	
達 目 標			国家試験の	制作を行う。また引き続き の合格を目指す。				アルゴリズムI・Ⅱ	プログラミン: アルゴリズム(科目(フローラ	
	し理解を	深める。	を実装することができる。				げる。		Javal·II	現在広く利用 基本(順次、5 本格的なプロ 例外処理等も
	三株 三株	コンピュータ概論	── 講情報処理講座 I	講情報処	□ 珥 蒜 広 Ⅱ	講情報処理講座Ⅲ			データベース基礎 I	基本情報技術 SQL文の基本
	9%	システム開発概論	銭∥無双と生調任Ⅱ		と注明性Ⅱ				データベース 設計演習	システムの構築設計の考えを
		מוום 1960 טיל נולן ביי		演 loT演	習し	a loT演習II	済 習 AIプログラミング言語	済 習 AIプログラミング演習	データベース 開発演習	1年次に学ん javaプログラ
				演 図 UML			^液 アジャイル開発演習	1	インターネット 実習基礎	Webサイトを Webサイトの
	専調	ネットワーク・セキュリティ概論	────────────────────────────────────				漢 齊 卒業研究(企画・設計)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ネットワーク演習	システムエン
カリ	門 <u> 義 ^</u> 分 野	インドン フ・ピキュッティ 100 mm	習れがドラーク演画	_				※ UIデザイン	情報処理講座 ・ ・	基本情報技術
	1 1								サーバー構築演習	LinuxOSのイ
	演習	アルゴリズムI	アルゴリズム]					ログ解析演習	ログ解析ツー セキュリティコ
キュラ	演習	Javal	演 習 Javall]					UML	オブジェクト 理解する。プロ
ラム		データベース基礎	演 データベース設計演習		マベース開発演習	漢 ログ解析演習	AWSクラウド演習 RPA演習	AWSクラウド応用	JavaScript& Ajax I • II	Webアプリケ 言語を学習す よく利用され ⁷ また、各種フし
		/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	習 / スペ ス成別 次日 次日 次日 次日 次日 次日 次日 次		アプリケーション演習	まり パ 情米点目 ** モバイルアプリケーション	TARE		Web アプリケーション 演習	PHPを使った MySQLを使っ 理解する。
			習「フォーイッド天白奉姫	演 Java	aScript&AjaxI	JavaScript&AjaxII			loT演習I・II	マイクロコン b 発展した電子
				演専攻Ⅰ		■ 専攻Ⅱ	膏 専攻Ⅲ	費専攻Ⅳ	モバイル アプリケーション	ハイブリッド 3 スマートフォン アプリケーシ
	教養分野			演習 ビジネ	スプレゼン演習I	ビジネスプレゼン演習	ビジネス文書		アジャイル開発演習	スパイラルモー システム開発・ コミュニケー:
	野	サーティファイ情報処理 サーラ	ティファイ情報処理	応用情報	服技術者試験	版用情報技術者試験	□ 講 社会人基礎講座 II □ 応用情報技術者試験	応用情報技術者試験	AIプログラミング 言語・演習	Python言語の またPython 習得する。
		能力認定試験3級 能力調	認定試験2級 情報技術者試験	_	本情報技術者試験	基本情報技術者試験	基本情報技術者試験	基本情報技術者試験	RPA演習	Python言語:
ス		基本情報技術者試験 基本 科目A免除試験	サーティファイWeb	<u></u>	平	签 平 同 秋 X 附 白 叫 承	至华间报及则自叫政	空 华间秋汉州 自	AWSクラウド演習・ 応用	オーソドックス AWS(Amazo またAWS認定
ケジ		クリエイター能力 認定試験 サーティファイjava能力				LPIC			UIデザイン	スマートフォン ユーザインタ・ アプリケーシ
<u>ا</u>	ユ J検 (情報システム試験) J検 (情報システム試験) J検 (情報システム試験) J検 (情報システム試験) J検 (情報システム試験) ・					◆ 校内IT 企業セミナー	↓ ★☆→→□ #=>>.#**	hvv.®	卒業研究 (企画・設計)	卒業研究は提 前期は実現す
ル					校内プログラミングハッカン↑ 穴吹祭		校内プログラミングハッ?穴吹祭	3779	卒業研究	前期に企画し プロジェクト
	新入生才	オリエンテーション ●夏休み ●スポー	一ツ大会・冬休み・春休	74	●夏休み ◆スポーツ大	会 IT研修 冬休み 春休み	●夏休み ●スポー		社会人基礎講座 I・II	就職活動に臨 自己分析を行 必要な表現力
	4月 6	6月 7月 8月 9月	12月 2月 3月	4月 5~6月	7A 8A 9A	10月 11月 (11分 12月 2月 3月	4月 5分 7月 8月 9月	10月 112月 12月 3月	専攻Ⅰ~専攻Ⅳ	データサイエン

支術者試験合格に必要な、 支術者試験合格に必要な情報技術、特にネットワーク、 1リティ分野の基本的な知識を習得する。 支術者試験合格に必要な ・タシステムの開発技術やマネジメント知識を習得する。 ングに必要な手順や計算法である ムについて学習し、基本情報技術者試験の ーチャート・擬似言語)の理解度を高める。 」用されているJava言語を習得する。 アルゴリズムの 、分岐、繰り返し)を踏まえたプログラミングを習得する。 プログラミングに必須となるオブジェクト指向を理解し、 **等も考慮した開発技術まで習得する。** 支術者試験にも出題されるデータベース操作言語である 基本的な使い方を習得する。 の構築・開発で必ずと言っていいほど必要となるデータベースの えを基本から学ぶ。また実際に構築し運用技術を学ぶ んだデータベースに対しデータの検索、追加、更新、削除を ブラムから行う方法を習得する。 ・を構築するために必須となる言語を学び、静的な の構築技術を習得する ンジニアとして必要なネットワーク技術の基本を習得する。 支術者試験、応用情報技術者試験の対策を行う。 のインストロールと各種サーバーの構築手法を学ぶ。 ノールであるSplunkの利用方法を理解するとともに、 ィエンジニアの業務の理解を深めSoC業務への関心を高める。 ト指向の基本概念を理解する。UMLダイアグラムを プログラムを設計するための指標とする。 Jケーションを作成するために利用されているJavaScript 引する。特にWebブラウザとWebサーバ間のデータ連携に れているAjax通信技術を中心に学ぶ。 フレームワークを利用した効率の良い制作技術も習得する。 ったWebアプリケーションを作成するスキルを養う。 使ってSQLを学習する。HTTPの基本的な仕組みについて ンピュータを用いて電気回路の基礎を学習する。 ②子回路を組み立てインターネットへの情報発信を学習する。 ,ドアプリ開発環境であるMonacaを利用し、 ォンが持つカメラ、GPS、API、各種センサーを利用した ・ションの作成技術を学習する。 モデル、アジャイル、スクラムでの開発手法に基づいた |発を行う。開発手法を通じて、開発チームで必須の ーション能力を養う。 · 語の基礎を学ぶ。他言語との違いや得意分野を学ぶ。 on言語の様々なライブラリを活用して機械学習の基礎を :語からExcelを操作する手法を理解しRPAの基本を習得する。 クスなWebアプリケーションの実行環境を azon Web Services)に構築する手法を習得する。 認定試験の合格を目指す。 ォンアプリやWebサイトに求められる使いやすい ターフェースについて理解し、卒業研究で制作中の -ションに活かす。 は提示されたテーマをITで実現することを目的とします。 見する具体的なシステムの内容を企画する。 **動した内容を元にシステムの制作を完成する。 パトチームの一員として、協調してより良いシステム開発を目指す。** こ臨むにあたり必要な常識、マナー、ルールを理解する。 行うとともに、自分の考えを他人に理解してもらうために 見力を高める。 エンス専攻、ドローン・ロボット専攻、e-sports専攻から選択する

00